

# 第18回アジアマスターズ陸上競技選手権大会 第35回全日本マスターズ陸上競技選手権大会 5日間の熱戦に幕



第18回アジアマスターズ陸上競技選手権大会・第35回全日本マスターズ陸上競技選手権大会は、9月19日(金)～23日(火・祝)の5日間、北上陸上競技場で開催されました。

天候にも恵まれ19万国・地域から2879人がエントリーし4種目26競技が繰り広げられました。大会では3個の世界新記録と41個の日本新記録が誕生。大会MVPに男子はM90クラスの800m・1500m・5000mで世界新記録を樹立した宮内義光さん(鹿児島県)、女子はW75クラスの砲丸投げ・円盤投げでアジア新

記録を樹立した玄蕃昌子げんぱんさん(神奈川県)が選ばれました。

また、会場に市内の各幼稚園・保育園・認定こども園計17園の園児と市内小学校11校の生徒が訪れ、大きな声援を送りました。会場にはフラワーサポーターが育てた応援プレート付きのペゴニアの花や、市内の小中学生が作製した応援旗やのぼりが飾られるなど、訪れた人の目を楽しませていました。

たくさんさんのボランティアに支えられ、生涯青春をテーマに選手それぞれがベストを尽くした熱い5日間が終了しました。

## 最高齢で出場の宮崎秀吉さん(京都府)が104歳を迎える



M100以上クラスの100mに出場した宮崎秀吉みやざきひできよさん(京都府)は競技当日の9月22日に104歳の誕生日を迎えました。レース後に花束を渡されると「105歳になっても走りたい」と今後の目標を話していました。



M55クラス円盤投げに出場した高橋市長。



自作の国旗を手に園児たちが大きな声援を送りました。

## Topics トピックス



フラワーサポーターが育てたペゴニアの花が応援プレートとともに会場を彩りました。



M60クラスの棒高跳びに出場した三宅清房みやけしやうぶさん(北上市役所)はアジアタイ記録で優勝しました。